

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションデザイン演習 I Fashion Design Seminar I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟 3F	授業中に指示します。		授業中に指示します
授業の概要				
服飾造形の基礎を学習する。パターン製作(平面作図法・立体裁断法)の基礎知識を習得し、各自の体形に合わせたブラウスやベスト(トップ)、スカートやパンツ(ボトム)のデザイン、パターンメイキング、縫製までの衣服設計の基礎を習得する。また、人体測定法、衣服製作に必要な用具の名称や使用方法、素材の扱い方、アイロンやミシンの使い方など基礎知識について学ぶ。				
授業の目標				
①衣服造形の基礎(人体計測、デザイン、パターン設計、補正、製作)を理解できるようにする。 ②トップ、ボトムをデザインし、製作できるようにする。 ③ミシン、アイロンなど適切に、かつ安全に使用できるようにする。				
授業の方法				
演習形式。作品製作を取り入れ、衣服設計・製作の実践、習得を図る。				
学習の成果(学習成果)				
①人体計測、デザイン、平面作図法、立体裁断法、型紙作成、補正、裁断、縫製、仕上げの一連の流れを経験できる。 ②衣服製作に必要な用具の名称を理解でき、それらを正しく使うことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション ファッションデザイン概説			
第2回目	人体計測			
第3回目	ボトムデザイン：スカート・パンツ			
第4回目	ボトム製作：設計① 立体裁断			
第5回目	ボトム製作：設計② 平面作図			
第6回目	ボトム製作：型紙作製 修正			

第7回目	ボトム製作：作品製作 ① 裁断 仮縫い 補正	
第8回目	ボトム製作：作品製作 ② 本布縫製	
第9回目	ボトム製作：作品製作 ③ 本布縫製 仕上げ 完成	
第10回目	トップス 概説	
第11回目	トップのパターン製作① デザインとパターンの関係 快適なパターン 布と縫製	
第12回目	トップのパターン製作② 自由デザイン (ブラウス・ベスト)	
第13回目	トップのパターン製作③ 自由デザイン 本布裁断 縫製	
第14回目	トップの作品製作： 本布縫製 芯地 縫製研究	
第15回目	トップの作品製作： 本布縫製 仕上げ 着装 発表	
事前・事後学習	事前：衣服デザインとパターン、素材に興味を持って。事後：製作品のデザインとパターンの関係、快適性など確認	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	遅刻、欠席がなく、積極的に授業に参加しているか評価する。
レポート	20%	製作レポートについて、製作工程や方法が適切にまとまっているか、製作方法について挿絵を用いるなどまとめ方に創意工夫がみられるかを評価する。さらに、期限内に提出されたかを評価する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容 (態度含む)	10%	発表について、製作作品を着装したうえで、デザインのポイントや製作上の創意工夫、感想などが分かりやすく発表できているか評価する。
その他	40%	完成品はきれいにできているか、製作工程通りに作業が進められたか、デザインに創意工夫がみられるかを総合評価する。また、作品が期限内に提出されたかを評価に加える。
教科書と参考図書		
教科書：服飾造形講座②改訂版 文化ファッション体系 参考書：服装造形学 技術編Ⅰ 文化出版局 中屋典子・三吉満智子監修 「服装造形学 理論編Ⅰ」 文化出版局 中屋典子・三吉満智子監修		
履修上の留意点・ルール		
演習授業のため、原則、遅刻、欠席を認めない（やむをえない場合は、2/3以上の出席とする。材料費は自己負担とする。忘れ物、飲食、私語、携帯電話の使用を禁ずる。		